

01 / BASIC

ペット基本情報・身元確認

避難バッグ、キャリー、家族のスマートフォンに分けて保存します。迷子札やマイクロチップの登録情報も別に確認します。

基本情報

名前・動物種 こむぎ・犬（架空）

毛色・体格・目立つ特徴 茶色・胸に白い毛

飼い主の連絡先 家族A：実際の番号を記入

第二連絡先 家族B：実際の番号を記入

かかりつけ・相談先 通院先の名称・電話を記入

最近の写真・迷子札・マイクロチップの確認メモ

詳しい住所、鍵、暗証番号、パスワード、身分証明書番号はこの用紙に書きません。

02 / MEDICINE

薬・療法食の情報シート

薬の量や療法食の切替を自己判断するための用紙ではありません。処方元や動物病院から受けた指示を確認できる形にします。

記録する項目

薬・療法食の名称 処方ラベル・製品表示から転記

残量・残日数 残量を確認して記入

保管方法・停電時の確認先 表示と病院の指示を確認

投与・給餌の手順（受けた指示） 受けた指示をそのまま別紙へ

かかりつけ・第二連絡先 実際の病院・連絡先を記入

- ☐ 避難バッグへ入れる分と自宅保管分を分けた
- ☐ 処方ラベル・診察券・相談先を確認した
- ☐ 内容を変更せず、判断に迷う時の連絡先を決めた

病院へ確認すること・次に連絡する時期

03 / HANDOVER

世話役の引継ぎシート

家族や世話役が交代する時に、実施したことと次に確認することを共有します。鍵や暗証番号は別の安全な方法で管理します。

引継ぎの基本

日付・場所 記入日・実際の滞在先を書く

前の担当者／次の担当者 家族A → 家族B（架空）

最後に水・食事・排せつを確認した時刻 08:00 水を交換（架空）

次に確認する時刻 12:00 次の担当が確認（架空）

相談した先・受けた案内 確認先と受けた案内を書く

普段と違う様子・今日伝えること

- ☐ 薬・療法食は受けた指示に沿って記録した
- ☐ 世話に不要な個人情報を渡していない
- ☐ 不要になったコピーを回収・破棄する担当を決めた

04 / DAILY LOG

避難先の犬猫ケア記録

一日一枚で、水、食事、排せつ、様子、相談内容を記録します。施設の飼育・清掃・ごみのルールは現地案内を優先します。

一日の記録

日付・場所 記入日・実際の滞在先を書く

担当者 家族A（架空）

水：時刻・交換・飲み方 08:00 水を交換（架空）

食事：時刻・いつもの手順 普段の手順で実施した事実を書く

排せつ：時刻・場所・処理 時刻・実施した処理を書く

薬・療法食：実施した事実 処方どおり実施した事実を書く

普段と違う様子・相談した内容

次の担当者へ伝えること

05 / BACKUP

情報のバックアップ確認

紙、スマートフォン、家族が確認できる別の場所へ分けて保存します。共有する相手ごとに、必要な情報だけを渡します。

保存先を分ける

紙：避難バッグ・キャリー・家族の保管場所 避難バッグ内の防水ケース（例）

スマートフォン：写真・連絡先・必要なシート 端末内の防災フォルダ（例）

別の場所：家族の端末・安全に管理する保管先 家族Bの端末（例）

更新日・次の見直し日 記入した日・次回確認日を書く

更新チェック

- ☐ 写真が現在の毛色・体格・首輪になっている
- ☐ 電話番号、病院、薬・療法食が変わっていない
- ☐ 紙が濡れたり読めなくなったりしていない
- ☐ 圏外や停電でも必要な情報を確認できる
- ☐ 不要になった共有コピーを回収・破棄した

見直し時のメモ

06 / RETURN HOME

帰宅前・多頭の安全確認

犬猫を先に部屋へ放さず、人が建物と室内の安全を確認します。多頭・高齢・介助が必要な場合は、担当と用品を頭数ごとに分けます。

帰宅前の確認

- ☐ 避難情報、立入制限、建物や道路の危険を確認した
- ☐ 犬猫は閉じたキャリーなどで安全に待機している
- ☐ 足元のガラス・落下物・薬品・濡れた床を確認した
- ☐ 窓・網戸・玄関・ベランダなど逃走経路を確認した
- ☐ 水・寝床・トイレ・室温を確認してから生活を戻す

多頭・高齢・介助の担当

1頭目：用品・担当・介助内容 こむぎ：家族A・用品袋1（架空）

2頭目：用品・担当・介助内容 むぎ：家族B・用品袋2（架空）

3頭目以降：用品・担当・介助内容 飼育している場合だけ記入

移動できない時の相談先・第二候補 実際に確認した相談先を書く

家族で決めた切替条件

空欄・チェック欄は実際に確認して記入。建物の安全や薬の変更はこの用紙で判断しません。

うちの子ケアノート / 記入見本作成：2026年9月7日 / 元の用紙：2026年8月版